

人的対応・心のバリアフリーの取組み紹介

1. 公共交通事業者各社

取組①

実施主体	(共催)全国交通事業者 95 社局 (協力)障害者団体等 11 団体
取組タイトル	「声かけ・サポート運動」の実施
対象者	社員・駅ご利用のお客さま
実施時期・頻度	通年実施 ※2025年9月1日(月)～10月31日(金)に強化キャンペーンを実施
取組の目的	お身体の不自由なお客さまやご高齢のお客さまなど配慮の必要なすべてのお困りのお客さまに安全かつ安心して駅等の施設をご利用いただくために、バリアフリー設備の整備だけでなく、社員やご利用のお客さまに声かけやサポートの具体的な方法を示し後押しすることで、社会全体でこうした方々を見守り支えあう動きを広げていく。
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの掲出、デジタルサイネージでの放映 ・駅構内、列車内での放送による取組みの推進 ・社員による積極的なお声掛けや見守りの実施
写真・ポスターなど	<p>・掲出・放映ポスター(2025年8月22日ニュースリリース)</p>

2. 東日本旅客鉄道(株)

取組①

実施主体	東日本旅客鉄道株式会社
取組タイトル	バリアフリー対応マニュアルを活用した社員教育の実施
対象者	社員
実施時期・頻度	継続して実施
取組の目的	お身体の不自由なお客さま・配慮が必要なお客さまの障害特性による特徴や多様さ、対応方法等への理解を深め、駅や列車をご利用いただく際にお客さまの立場に立った丁寧な対応ときめ細やかな配慮を行う。
具体的な内容	・各職場での勉強会や訓練会において教育や議論を行う。 ・お身体の不自由なお客さまの状況を疑似体験し、よりよい対応方法や適切なお声掛け、配慮の仕方を学ぶ
写真・ポスターなど	—

取組②

実施主体	東日本旅客鉄道株式会社
取組タイトル	サービス介助士資格の取得
対象者	新入社員
実施時期・頻度	新入社員研修時
取組の目的	すべてのお客さまに安心・快適にご利用いただくため。
具体的な内容	(公財)日本ケアフィット共育機構が認定する「サービス介助士」資格について、全ての新入社員を対象に研修を実施している。 研修の中で障害当事者が参画したカリキュラムを実施することにより、対応スキルの向上に努めている。
写真・ポスターなど	—

3. 西武鉄道(株)

取組①

実施主体	西武鉄道株式会社
取組タイトル	ユニバーサルマナー検定(鉄道)の取得・更新
対象者	未取得の駅係員(主に新入社員)
実施時期・頻度	—
取組の目的	高齢者及び障害のあるお客さまへの接客スキル向上。
具体的な内容	お客さまにより安心感をもって西武鉄道をご利用いただくため、ミライロ(社)と共同開発したユニバーサルマナー検定(鉄道)資格の駅係員取得を実施している。対象者は新入社員が大半を占める。また、入社教育時に自社で定めるマニュアルをもとに社内教育(机上・実技)を実施。 ユニバーサルマナー検定(鉄道)による鉄道業務に直結した実践的な教育で、相手の立場に立ったコミュニケーション力を学ばせ、対応スキル向上に努めている。
写真・ポスターなど	—

取組②

実施主体	西武鉄道株式会社
取組タイトル	「声かけ・サポート」運動強化キャンペーン
対象者	鉄道をご利用のお客さま
実施時期・頻度	2025年9月1日(月)~10月31日(金)
取組の目的	お困りのお客さまを見守り支え合う動きを社会全体の運動としてより広く進めるため、全国の鉄道事業者等が連携し、「声かけ・サポート」運動を実施している。 本キャンペーンはその強化期間として、「声かけ・サポート」運動の取り組みを世間へ発信すること、また鉄道をご利用のお客さまに「声かけ・サポート」運動にご協力いただき、お困りのお客さまに対してお声かけをしていただくことを目的としている。
具体的な内容	お客さまが安全かつ安心して施設をご利用いただけるよう、お困りのお客さまに対して駅係員から積極的にお声かけを行うとともに、周囲のお客さまからもお声かけにご協力いただく。
写真・ポスターなど	(交通事業者 95 社局、障害者団体を含む 11 団体で実施。 2025年8月22日 ニュースリリース)

4. 東武鉄道(株)

取組①

実施主体	東武鉄道株式会社
取組タイトル	「声かけ・サポート」運動 強化キャンペーンの実施
対象者	鉄道をご利用のお客さま
実施時期・頻度	2025年9月1日(月)～10月31日(金) 実施
取組の目的	お困りのお客さまに対して社員から積極的にお声かけを行うとともに周囲のお客さまからもお声かけにご協力いただく取組みです。
具体的な内容	駅構内へのポスター掲出および駅、車内放送等を実施しました。また、介助が必要と思われるお客さまへの介助等について障害者差別解消法に定める合理的配慮を理解し、案内・介助等が行えるよう駅社員に再周知を図りました。
写真・ポスターなど	 <p style="text-align: center;">2025 年度ポスター</p>

取組②

実施主体	東武鉄道株式会社
取組タイトル	視覚に障がいのあるお客様向け鉄道施設利用の体験会
対象者	社員、視覚障害者団体
実施時期・頻度	2025年2月7日(金)
取組の目的	視覚障害者への円滑な介助を行うことと「声かけ・サポート」の重要性について周知を図り、視覚障害者の行動特性を一層理解することを目的に実車や訓練線を活用した体験解を実施した。
具体的な内容	視覚障がい者団体のほか、日頃鉄道を利用されている沿線の盲学校の生徒に参加していただき、異常時を想定し避難梯子を使用した車両からの降車体験や教育訓練用の踏切設備にて様々な場면을想定した歩行体験等を実施した。
写真・ポスターなど	 <p>非常梯子を使用した乗車・降車体験の様子</p>

5. 東京地下鉄(株)

取組①

実施主体	東京地下鉄株式会社
取組タイトル	社員研修の充実とお客様啓発 PR
対象者	全駅社員
実施時期・頻度	・バリアフリー研修、サービスマインド研修等(各1回/年) ・ポスター掲出による PR ・年間を通じて東京メトロの全駅にポスターを掲出
取組の目的	知識・技能の向上を図り、多様なお客様へのご案内を充実させ、正しい介助方法の習得と事故の未然防止を図る。 ポスター掲出によるお客様への啓発活動を実施。
具体的な内容	座学、ロールプレイング、DVD視聴、講師とのディスカッション及び質疑応答等を行なう。 ポスターを掲出して啓発を図っている。
写真・ポスターなど	実際に掲出しているポスター（例）  (東京都福祉局作成)

取組②

実施主体	東京地下鉄株式会社
取組タイトル	サービス介助士資格取得の推進
対象者	全駅社員
実施時期・頻度	随時
取組の目的	全てのお客様に安心してご利用いただけるよう、バリアフリーに関する知識と、安全な介助技術を身につける。
具体的な内容	公益財団法人日本ケアフィット共育機構が指定する研修の受講を推進し、資格取得を促進する。
写真・ポスターなど	—

7. 東京タクシーセンター

取組①

実施主体	公益財団法人 東京タクシーセンター
取組タイトル	ユニバーサルドライバー研修
対象者	23区、武蔵野市、三鷹市のタクシー運転者及び 新規講習生(新規3日間講習において受講)
実施時期・頻度	週の内、火曜日全日 (不定期) 現任運転者 金曜日全日 (//) // 新規講習 2日目午後・3日目午後 新任運転者
取組の目的	高齢者、障がいのある方を含めた全ての利用者が 快適にタクシーを利用できるようユニバーサル社会の実現に向け、 ユニバーサルドライバー研修を実施しております。
具体的な内容	講習テキスト 序章 タクシーとユニバーサル社会 第一章 タクシーが支えるこれからのバリアフリー 第二章 お客様(高齢者・障がい者)の接客にあたって 第三章 お客様の理解と接遇・介助方法 第四章 車いすの取り扱い方と乗車、降車 参考 乗車時の事故防止／ユニバーサルドライバーこんなときどうする 日本盲導犬協会講師による講義(年5回開催予定)
写真・ポスターなど	

8. 豊島区 区道管理者

取組①

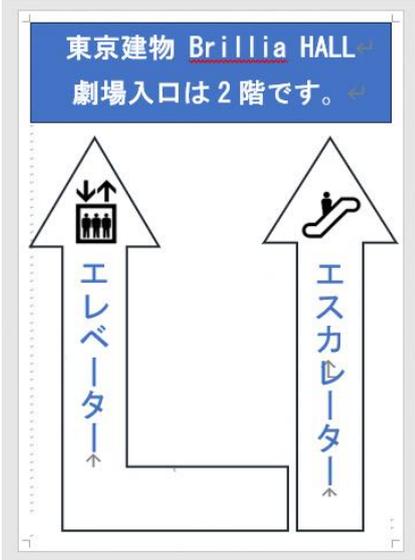
実施主体	豊島区 区道管理者
取組タイトル	特定事業⑱地域・警察・区が連携したグリーン大通り等での合同キャンペーン
対象者	区民・来街者
実施時期・頻度	グリーン大通り等での合同キャンペーン：年2回 ウイロードでの普及啓発活動：月1回
取組の目的	自転車の走行ルール・マナーの啓発
具体的な内容	グリーン大通り等での走行ルール・マナーの啓発のための合同キャンペーンを実施する。 実施交差点にて信号停止している自転車利用者に、「自転車安全利用五則」等のリーフレットや反射シール等の交通安全啓発品を配布する。 令和3年度より、ウイロードにおいて、池袋警察署や地域団体等と連携し、自転車利用者に対する普及啓発活動を開始した。
写真・ポスターなど	<p>●自動車安全利用五則</p>  <p>●交通安全啓発品の配布</p>  <p>●ウイロードでの普及啓発活動</p>  <p>●ウイロードでの普及啓発活動</p> 

取組②

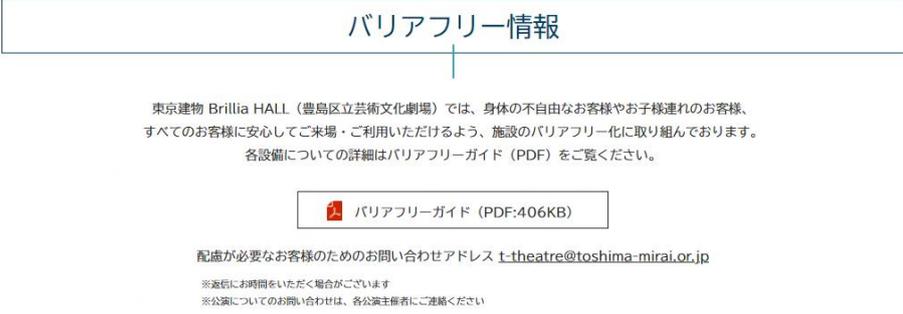
実施主体	豊島区 区道管理者
取組タイトル	特定事業⑩全年齢を対象とした交通安全教室
対象者	区民
実施時期・頻度	通年
取組の目的	自転車利用者をはじめとした交通安全の周知
具体的な内容	<p>区立小中学校をはじめ、地域区民ひろばでの高齢者及び未就学児の保護者を対象とした交通安全研修会を警察と連携し実施する。</p> <p>また、区内主要駅前においての自転車放置防止と利用マナーの向上を目指すキャンペーンを実施する。</p>
写真・ポスターなど	<p>●地域区民ひろばでの研修会</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>●駅前でのキャンペーン</p>  <p>●中学校でのスケアードストレイト授業</p> 

9. Hareza 池袋(芸術文化劇場)

取組①

実施主体	公益財団法人 としま未来文化財団（指定管理者）
取組タイトル	エレベーター誘導告知の案内板設置
対象者	来館者
実施時期・頻度	公演開催日
取組の目的	エレベーターを必要とする来館者へ分かりやすく誘導するため。 ※高齢の方々が多く来館いただく公演時に実施。
具体的な内容	移動型ポスタースタンドに掲示して芸術文化劇場1階エントランス脇に設置。
写真・ポスターなど	

取組②

実施主体	公益財団法人 としま未来文化財団（指定管理者）
取組タイトル	バリアフリー・サービス
対象者	お客様
実施時期・頻度	通年
取組の目的	配慮が必要なお客様のためのお問い合わせ先の拡充
具体的な内容	劇場HP内、バリアフリー情報ページに電話問合せができない方へメールにて問い合わせ頂ける窓口を設置。
写真・ポスターなど	<div style="text-align: center;">  <p>バリアフリー情報</p> <p>東京建物 Brillia HALL（豊島区立芸術文化劇場）では、身体の不自由なお客様やお子様連れのお客様、すべてのお客様に安心してご来場・ご利用いただけるよう、施設のバリアフリー化に取り組んでおります。各設備についての詳細はバリアフリーガイド（PDF）をご覧ください。</p> <p>バリアフリーガイド（PDF:406KB）</p> <p>配慮が必要なお客様のためのお問い合わせアドレス t-theatre@toshima-mirai.or.jp</p> <p>※返信にお時間をいただく場合がございます ※公演についてのお問い合わせは、各公演主催者にご連絡ください</p> </div>

取組③

実施主体	公益財団法人 としま未来文化財団（指定管理者）
取組タイトル	「観劇サポート講座」受講
対象者	職員
実施時期・頻度	年1回
取組の目的	障害への理解を深め、人的対応の充実を図る。（指定管理者による研修の充実等）
具体的な内容	「観劇サポート講座」（聴覚編・視覚編）への参加等、理解の促進に努め、実践につなげている。
写真・ポスターなど	 <p>The poster is titled "観劇サポート講座" (Audience Support Lecture) and is part of a series by the "文化施設でのアクセシビリティを考え、実践する" (Thinking and Practicing Accessibility in Cultural Facilities) project. It addresses common issues like "きこえない・きこえづらい" (can't hear/hearing is difficult) and "みえない・みえづらい" (can't see/seeing is difficult). It includes a cartoon character asking "どう対応すれば良いのか分からなかった" (I didn't know how to respond) and "そういった経験をお持ちではないですか？" (Do you not have such experiences?). The poster lists two sessions: "聴覚障害者お迎え編" (Hearing Impaired Welcome Edition) on March 18th and "視覚障害者お迎え編" (Visually Impaired Welcome Edition) on March 19th, both at 2F, Hovio. It also mentions the location "あうるすぽっと (島倉正立総合芸術センター) 2F ホワイエ" and provides contact information for the organization.</p>

10. Hareza 池袋(としま区民センター)

取組①

実施主体	公益財団法人 としま未来文化財団（指定管理者）
取組タイトル	「観劇サポート講座」受講
対象者	職員
実施時期・頻度	年1回
取組の目的	障害への理解を深め、人的対応の充実を図る。（指定管理者による研修の充実等）
具体的な内容	「観劇サポート講座」（聴覚編・視覚編）への参加等、理解の促進に努め、実践につなげている。
写真・ポスターなど	 <p>「きこえない・きこえづらい」「みえない・みえづらい」方とホールや劇場で対面した際に どう対応すれば良いのか分からなかった そういった経験をお持ちではないですか？</p> <p>聴覚障害者お見え編 2024年3月18日 レクチャー 10:00～12:30 ワークショップ 14:00～16:30</p> <p>視覚障害者お見え編 2024年3月19日 レクチャー 10:00～12:30 ワークショップ 14:00～16:30</p> <p>会場 あらうばとど(としま区民センター) 2F ホワイエ</p>

11. 池袋保健所仮庁舎

取組①

実施主体	豊島区
取組タイトル	特になし
対象者	区民
実施時期・頻度	毎日
取組の目的	多様な利用者のニーズに対応する。
具体的な内容	平日、常時2階フロア入り口に案内を配置し、お客様の多様なニーズに柔軟に対応できるようにしている。
写真・ポスターなど	—

12. 東京芸術劇場

取組①

実施主体	東京芸術劇場
取組タイトル	鑑賞サポート(舞台説明会、音声ガイド、ポータブル字幕機提供)
対象者	聴覚、視覚に障害をお持ちのお客様
実施時期・頻度	通年
取組の目的	障害を持つお客様にも演劇や音楽を楽しんでいただくための鑑賞サポート
具体的な内容	<p>【舞台説明会】 視覚に障害を持つお客様のために、公演開始前に、舞台のあらすじ、登場人物、舞台装置などについて説明をおこない、鑑賞の手助けをする。</p> <p>【音声ガイド】 説明をイヤホンでお聴きいただける受信機を、無料でお貸出し、上演中に俳優の動きや場面転換等についてライブで説明をする。</p> <p>【ポータブル字幕機提供】 演劇公演においてセリフや効果音などの情報をお手元でご覧いただけポータブル字幕機を無料でお貸出。 受付やチケットの精算時に手話通訳者が立会う。その他、お困りの際には、劇場スタッフがサポートし、おひとりでも安心して来場できる環境を整えている。</p>
写真・ポスターなど	  

取組②

実施主体	東京芸術劇場
取組タイトル	職員研修
対象者	劇場で働く職員および一部の委託業者
実施時期・頻度	2回
取組の目的	障害のある人がより楽しめる劇場を目指した全館研修会 (障害を持つ方々を劇場に迎えるにあたり必要な知識やマインドを学ぶ)
具体的な内容	今年度は、災害時・非常時に障害を持つ方々が安心・安全に避難する方法、また、視覚、聴覚障害の方などに的確な情報を伝える方法などを学ぶ「防災介助講座」を実施する。避難誘導の実践、車いす使用者への介助方法等
写真・ポスターなど	 <p>参考 (R5 年度実施講座)</p>

13. 西武池袋本店

取組①

実施主体	西武池袋本店
取組タイトル	高齢者・からだの不自由なお客様のお買いものをお手伝い
対象者	高齢者、からだの不自由な方
実施時期・頻度	営業時間に準ずる
取組の目的	西武池袋本店を 100%活用いただくお手伝い
具体的な内容	お客さま一人ひとりのお買いものに関するお悩みやご要望に対応。 店内をアattendしながら専門販売員と一緒に西武池袋本店を 100%活用して頂けるようにお買いものお手伝いを行っている。 可能な限り予約なしでもアattendしている。
写真・ポスターなど	 <p>地下 1 階＝南口クラブオンゲート、2 階(北 A2)の 2 箇所</p>

15.サンシャインシティ

取組①

実施主体	サンシャインシティ
取組タイトル	バリアフリー対応
対象者	ご利用のお客様
実施時期・頻度	下記(1)短期的課題:日常的対応、(2)実施済み:日常的対応
取組の目的	利用のお客様の利便性を高めることを目的
具体的な内容	<p>(1)案内所では、筆談対応表示・用具を設置し対応しているが、新たに老眼鏡、杖ホルダーを設置。(2019 年度設置完了)⇒2025 年 4 月に老眼鏡の利用者がコロナ以降大幅に減少したため撤去した。</p> <p>(2)ベビーカーの貸出し手続き等の簡略化(貸出し票の廃止、返却場所の複数化)を実施(2018 年 4 月実施完了)。</p>
写真・ポスターなど	<p>(1)</p>   <p>(2)</p> 

取組②

実施主体	サンシャインシティ(関係会社:(株)アール・エス・シー)
取組タイトル	バリアフリー研修
対象者	サンシャインシティ・インフォメーション(受付)新人スタッフ
実施時期・頻度	4月(年1回)
取組の目的	身体に不自由のある方に関する知識を深め、来館時の案内・対応・介助方法の習得。
具体的な内容	講師の方より、身体に不自由のある方を館内で介助する際の注意点やコミュニケーションの回り方、基礎知識を学び、車椅子の操作方法・乗車体験、ブラインドウォーク体験などを行う。
写真・ポスターなど	—

取組③

実施主体	サンシャインシティ
取組タイトル	バリアフリーワークショップ
対象者	サンシャインシティグループ内の参加希望者
実施時期・頻度	2021年12月 実施済み
取組の目的	サンシャインシティにおけるバリアフリービジョンの明確化&今後の活動のアイデア出し
具体的な内容	障害者(肢体不自由・視覚障害・聴覚障害)の方と共にグループ社員がオンラインにて対話し、上記目的について対話。普段障害者の方と対話することのない社員に、対話から気づきを得てもらい、業務にも反映してもらおう。
写真・ポスターなど	

取組④

実施主体	豊島区(障害福祉課)・サンシャインシティ
取組タイトル	障害者差別解消法セミナー
対象者	サンシャインシティグループ社員・サンシャインシティ関係者
実施時期・頻度	2024年2月 実施済み
取組の目的	2024年度に施行される「障害者差別解消法」についての理解促進、また、「合理的配慮の義務化」に対する理解促進
具体的な内容	豊島区障害福祉課の職員の方を講師に迎え、様々な障害に対する理解も深めながら、「合理的配慮」とは何か、施設として必要な「合理的配慮」はどのようなものかを学び、障害をお持ちのお客様が安心して過ごせる環境づくりの一助とする。
写真・ポスターなど	

取組⑤

実施主体	サンシャインシティ
取組タイトル	合理的配慮ワークショップ研修
対象者	お客様接点の多い部門社員
実施時期・頻度	2024年2月16日(金)・3月3日(金) 実施済み
取組の目的	合理的配慮への理解と、具体的な対応方法をワークショップ形式で勉強し、各部門での活用
具体的な内容	2月16日は視覚障害者編・3月3日は聴覚障害者編をそれぞれ実施。障害当事者の方を講師に招き、ご自身の体験や同じ障害を持つ方のお話を伺いながら、施設としてどのようにお迎えすることが必要か、合理的配慮の必要性や方法を具体的に取り組んだ。
写真・ポスターなど	<p>視覚障害者編</p>   <p>聴覚障害者編</p>  

取組⑥

実施主体	サンシャインシティ
取組タイトル	合理的配慮ワークショップ(視覚障害者編)
対象者	ショッピングセンターアルパ 各店舗スタッフ
実施時期・頻度	2024年6月3～7日 期間中計8回 実施済み
取組の目的	合理的配慮への理解と、具体的な対応方法をワークショップ形式で勉強し、各部門での活用
具体的な内容	障害当事者の方を講師に招き、ご自身の体験や同じ障害を持つ方のお話を伺いながら、施設としてどのようにお迎えすることが必要か、合理的配慮の必要性や方法を飲食店・物販店に分かれ、実際の接客で使用する商品やメニュー表を用いて、具体的に対応策を学ぶ。
写真・ポスターなど	—

取組⑦

実施主体	サンシャインシティ
取組タイトル	合理的配慮ワークショップ(肢体不自由編)
対象者	お客様と接点の多い部門の社員
実施時期・頻度	2024年6月 実施済み
取組の目的	合理的配慮への理解と、具体的な対応方法をワークショップ形式で勉強し、各部門での活用
具体的な内容	2月16日は視覚障害者編・3月3日は聴覚障害者編をそれぞれ実施。障害当事者の方を講師に招き、ご自身の体験や同じ障害を持つ方のお話を伺いながら、施設としてどのようにお迎えすることが必要か、合理的配慮の必要性や方法を具体的に取組んだ。
写真・ポスターなど	

取組⑧

実施主体	サンシャインシティ
取組タイトル	合理的配慮ワークショップ(肢体不自由編)
対象者	お客様と接点の多い部門の社員
実施時期・頻度	2024年11月11日、12日 実施済み
取組の目的	合理的配慮への理解と、具体的な対応方法をワークショップ形式で勉強し、各部門での活用
具体的な内容	障害当事者の方を講師に招き、ご自身の体験や同じ障害を持つ方のお話を伺いながら、施設としてどのようにお迎えすることが必要か、合理的配慮の必要性や方法を具体的に取組んだ。
写真・ポスターなど	

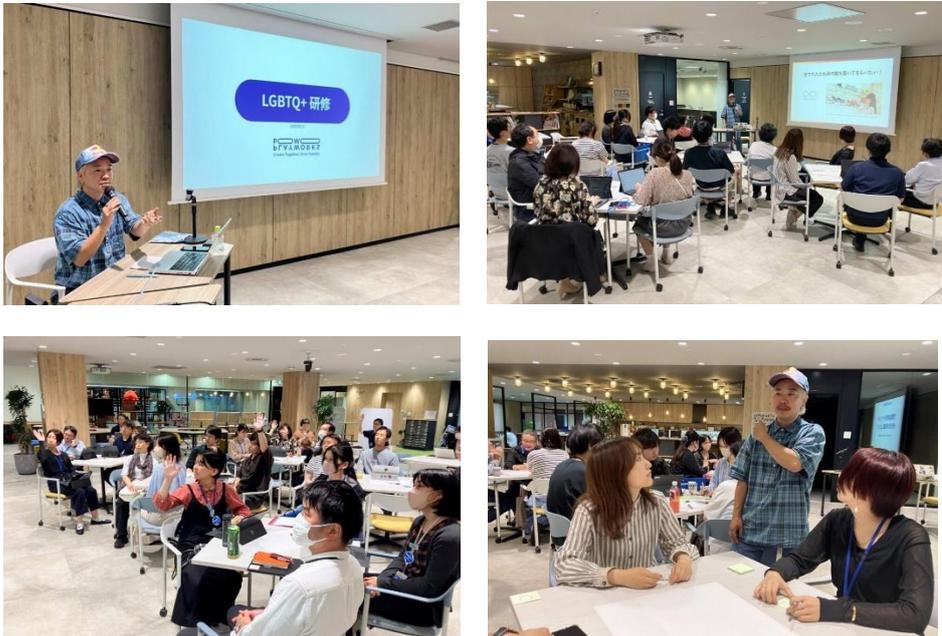
取組⑨

実施主体	豊島区(障害福祉課)・サンシャインシティ
取組タイトル	発達・精神障害 勉強会
対象者	お客様と接点の多い部門の社員
実施時期・頻度	2025年1月24日 実施済み
取組の目的	発達・精神障害への理解を深め、現場対応時に必要な知識の習得
具体的な内容	発達・精神障害の特徴、基本対応や場面ごとの対応をロールプレイングや事例を踏まえながら、施設としてどのようにお迎えすることが必要かを学ぶ。
写真・ポスターなど	—

取組⑩

実施主体	サンシャインシティ
取組タイトル	合理的配慮ワークショップ(視覚障害者編)
対象者	ショッピングセンターアルパ 各店舗スタッフ
実施時期・頻度	2025年2月27日、3月4日 実施済み
取組の目的	合理的配慮への理解と、具体的な対応方法をワークショップ形式で勉強し、各部門での活用
具体的な内容	障害当事者の方を講師に招き、ご自身の体験や同じ障害を持つ方のお話を伺いながら、施設としてどのようにお迎えすることが必要か、合理的配慮の必要性や方法を飲食店・物販店に分かれ、実際の接客で使用する商品やメニュー表を用いて、具体的に対応策を学ぶ。
写真・ポスターなど	—

取組①

実施主体	サンシャインシティ
取組タイトル	LGBTQ+研修
対象者	サンシャインシティグループ社員・サンシャインシティ関係者
実施時期・頻度	2025年6月11日 実施済み
取組の目的	LGBTQ+への理解と、具体的な対応方法をワークショップ形式で勉強し、各部門での活用
具体的な内容	当事者の方を講師に招き、LGBTQ+の基礎知識や炎上・好事例の紹介、ディスカッション、質疑応答を通じてLGBTQ+への理解を深める。
写真・ポスターなど	

16.(株)JR東日本ビルディング(メトロポリタンプラザ)

取組①

実施主体	JR東日本ビルディング
取組タイトル	優先エレベーター告知
対象者	来館者
実施時期・頻度	通年
取組の目的	エレベーターを必要とする来館者が優先して利用できるようにするため
具体的な内容	サインにて周知
写真・ポスターなど	 A photograph of an elevator door with two green priority signs. The sign on the left features a white icon of a person pushing a baby carriage and the text 'ベビーカー優先' (Baby carriage priority) with a smaller line of text below it. The sign on the right features a white icon of a person in a wheelchair and the text '車イス優先' (Wheelchair priority). The signs are mounted on a glass door with metal handrails.

17.TOHO シネマズ 池袋(Hareza 池袋)

取組①

実施主体	TOHO シネマズ 池袋
取組タイトル	バリアフリー音声ガイド上映
対象者	目が不自由なお客様
実施時期・頻度	定期的
取組の目的	目が不自由なお客様でも映画をお楽しみいただける上映
具体的な内容	<p>【バリアフリー上映(音声ガイド付き上映)】 バリアフリー上映(音声ガイド)とは「見えない、見えにくい方」が、いつでも、どこでも映画が楽しめるよう、音声ガイド付きでご鑑賞いただける上映。専用のアプリ(「HELLO!MOVIE」もしくは「UD Cast」)と音声ガイドデータのダウンロードをして楽しむことができる。</p>
写真・ポスターなど	 <p>※引用：https://hellomovie.info/https://udcast.net/about/</p> <p>UDCastを使って音声ガイドや字幕など必要な情報を表示できます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>聴覚障害者用字幕 メガネ型端末や携帯端末で字幕や手話を表示。</p> <p>Q もっと見る</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>視覚障害者用音声ガイド 携帯端末から音声ガイドを提供。</p> <p>Q もっと見る</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>手話映像 予め収録した手話映像を表示。</p> <p>Q もっと見る</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>外国の方へ多言語字幕・音声 多言語字幕や多言語音声を提供。</p> <p>Q もっと見る</p> </div> </div>

取組②

実施主体	TOHO シネマズ 池袋
取組タイトル	人的対応・心のバリアフリー
対象者	サポート対応が必要なお客様
実施時期・頻度	常時
取組の目的	サポート対応ができる施設運営体制づくり
具体的な内容	営業時間中は、アルバイト従業員と劇場社員が無線で即時連絡をとれる体制を整える。お困りの方にはアルバイト従業員を含め責任のある立場の者も対応できる体制をつくり、来館しやすい環境を整える。
写真・ポスターなど	—

18.豊島区 福祉総務課

取組①

実施主体	主催:豊島区
取組タイトル	障害者サポート講座
対象者	区民
実施時期・頻度	年間 4 回程度開催
取組の目的	障害者への理解ならびに交流の促進
具体的な内容	<p>障害者への声かけや手助け方法の学習、障害疑似体験など、障害者への簡単なサポート方法を学ぶことができる区民向け講座を開催し、障害者への理解促進ならびに交流を図ります。対面形式の口座と合わせて、幅広い層への周知を図るために、サポート方法を収録した動画を YouTube により配信しています。</p> <p>◆令和 6 年度実績◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 4回(・発達障害者講座との連携 2 回、障害者団体連合会との連携、出前講座(サンシャインシティ)) ・参加人数 180 人
写真・ポスターなど	

取組②

<p>実施主体</p>	<p>主催：豊島区、豊島区民社会福祉協議会 共催：豊島区医師会、豊島区歯科医師会、豊島区薬剤師会、 豊島区シルバー人材センター 協力団体：東京巣鴨ライオンズクラブ、東京池袋ライオンズクラブ、 (株)アニメイト、豊島区民生委員・児童委員協議会</p>
<p>取組タイトル</p>	<p>ふくし健康まつり</p>
<p>対象者</p>	<p>区民</p>
<p>実施時期・頻度</p>	<p>例年 12 月開催(会場都合により変更あり)</p>
<p>取組の目的</p>	<p>世代や障害の有無を超えた区民参加と相互の交流のために開催し、福祉全般についての理解を深めるとともに啓発に努めます。</p>
<p>具体的な内容</p>	<p>◆令和6年度実績◆ 日時：令和6年12月8日(日)10時～15時 会場：としま区民センター、中池袋公園、パークプラザ、パークプラザ前イベントスペース 内容：障害者団体、ボランティア団体等の自主制作作品の販売、模擬店、 バザー、保健相談等を実施。 参加者数：5,363人</p>
<p>写真・ポスターなど</p>	

取組③

実施主体	豊島区
取組タイトル	認知症サポーター養成講座
対象者	<p>受講対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内在住・在勤・在学の方(年齢制限なし) ・区内地域活動グループ・町会・商店会・学校・子ども会・高齢者クラブ・企業などの団体(10名以上)
実施時期・頻度	希望があった場合随時
取組の目的	<p>認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を温かく見守る応援者(認知症サポーター)を養成することにより、認知症の方や家族が住み慣れたまちで安心して暮らし続けることができる地域づくりを推進します。</p>
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーターの活動内容は、「地域で声かけをしながら優しく見守る」「隣人あるいは商店や交通機関等、地域やまちで働く人としてできる範囲で手助けする」等のサポーター本人ができる範囲の活動から、地域で暮らす認知症の人や家族の困りごとの支援や、やりたいことの応援をする「チームオレンジ」へ繋ぐ。 ・講座の講師役は、「キャラバン・メイト」という東京都の養成研修を受講し、認知症に関する正しい知識や対処法等、講師となるための研修を修了した方である。 <p>◆令和6年度実績◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成講座(開催回数59回・養成人数累計数2,209人) ・キャラバン・メイト登録者数:145名
写真・ポスターなど	

取組④

実施主体	主催：公益財団法人日本チャリティ協会 共催：豊島区
取組タイトル	2024 パラアート TOKYO 第11 回国際交流展
対象者	一般
実施時期・頻度	2024 年 11 月 13 日(水)～2024 年 11 月 17 日(日)
取組の目的	障害者の芸術文化を国内外に発信する国際展覧会として、日・中・韓を中心に、世界各国の作家による絵画や書などの幅広い作品を展示します。展示会の開催により障害者の能力を引き出し、社会参加の支援を行うとともに、障害者美術分野の新しい発展方向を模索します。
具体的な内容	<p>障害者(児)のアート作品を集め専門家による選考を通じ、障害特性に応じた質の高いパラアート作品を発表展示して、芸術文化価値の認識を上げます。賞を設けて制作活動を奨励します。</p> <p>連動事業① WEB の活用の工夫 周知の拡大と「パラアートバーチャルギャラリー」(WEB 連動型展覧会)の設営</p> <p>②パラアートワークショップ(講習)開催対象障害者、障害児、児童、健常者</p> <p>会場での講習とともに IT を利用したリモート対応です。 専門員によるワークショップでは交流、共感、向上と認識を高める学びの機会を提供します。</p>
写真・ポスターなど	